

教学マネジメントのための卒業生調査

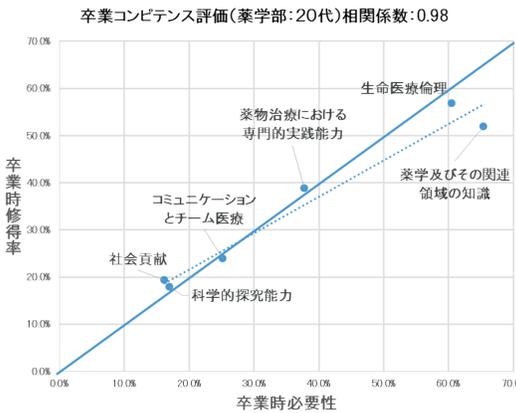
<大規模卒業生調査概要>

調査目的: ①本学における学修経験と卒業後のキャリア形成との関係、②卒業論文研究の効用 ③本学の教育において身につけた能力および社会において必要と感ずる能力を明らかにした上で、これまで本学が教育機関として果たしてきた役割を評価するとともに、未来に向けた教育・研究の礎となる情報を集積し、本学教育の質保証に資することを最終的な目標としています。

Table with 2 columns: 調査対象 (卒業生約18,000人), 調査方法 (無記名の自記式アンケート), 調査時期 (2017年9月~10月), 回収状況 (有効回答数 5,077件)

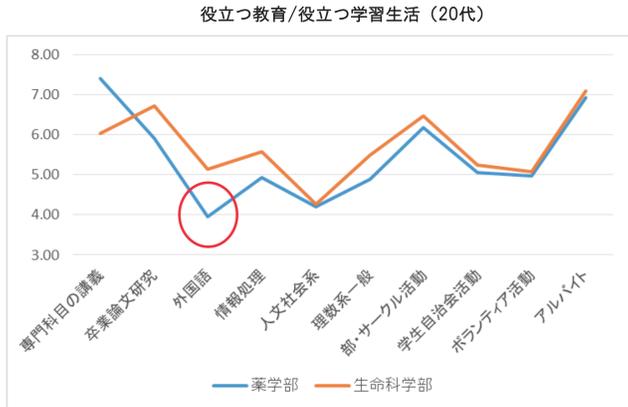
01 カリキュラムの改善

【分析1: 卒業コンピテンスと学修成果の評価】



卒業生が身につけているという実感と社会における必要性の関係性を分析すると、薬学部では、ほぼ対角線上にその関係が配置され、需要と供給が一致、卒業コンピテンスが機能していることが分かる。

【分析2: 教育プログラムの評価】



もっとやってあげれば良かった 講義・実習・活動・経験 (自由記述)

- 【薬学部】 1. 語学・海外経験 2. 薬理学 3. 部・サークル活動

- 【生命科学部】 1. 語学・海外経験 2. 情報処理教育 3. 部・サークル活動

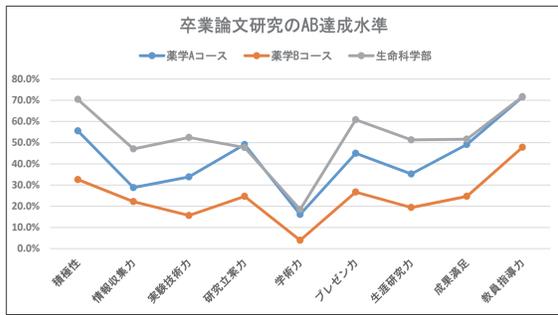
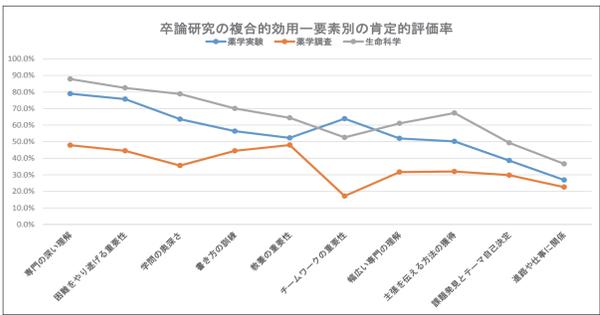
調査の結果では、「国際人として活躍するために必要な基礎的知識や英語力」を卒業時にとても必要、と答えた薬学部卒業生は25%超。また、もっとやってあげれば良かったと思う講義・実習・活動・経験などを自由記述形式で回答してもらったところ、両学部共に、語学・海外経験への大きな後悔がでる結果となった。

【薬学部】在学生へ卒業コンピテンス調査を実施し、年次が上がるごとに効用を上げていることを確認。外国語学習の役立ち度・必要性の結果を受け、外国語学習プログラムを新規に開設。英語担当教員の提案による、多読プログラムの開始。

【生命科学部】調査結果を受け、三本の矢(データサイエンス・国際化・アントレプレナー)を柱とした知識集約型社会を支える教育プログラムを2020年度より開始。

02 卒業論文研究の形成評価とディプロマ・サブメントによる視覚化

【分析3: 卒業論文研究の効用】



- ①卒業論文研究は、専門知識の深い理解のみならず、教養的知識から社会的スキルまで、幅広い複合的な効用をもたらしている。
②こうした複合的な効用は、卒論の達成水準に大きく規定されており、達成水準のルーブリックを用いた評価の重要性が確認できる。
③達成水準に加えて、学生本人の意欲的な取組みと教員の指導が効用を高めるカギになっている。
④卒論の達成水準は、学生の自己評価による主観的な効用を高めるだけでなく、卒業時に身につけた知識能力を向上させている。

日本の理系教育の特徴である卒業論文研究の学修成果が卒業生の質保証向上に果たす重要性を確認。卒業論文研究にルーブリックを用いた形成評価を導入し、学修成果を可視化した大学の証明書として、ディプロマ・サブメントを発行(2019年度~)

03 教学情報の共有化-教師と学生の相互理解を深めるために-

【エビデンスを誰のためにどのように活用するか?】

- 1. 学生に向けてエビデンスを編集する=卒業生調査の結果を分かりやすく学生へ向けて編集。卒業生の声を在学生へ届け、学びの指針として活用。
2. 教師に向けてエビデンスを編集する=全学FD・SD事業を展開し、調査結果を共有。
3. 高校生・保護者・社会へのメッセージ=HPや学内報を始め、学会等でも積極的に情報を公開。

Section for Faculty of Pharmacy (薬学部) including a line graph on graduation research and a list of 'Best 3' items like international experience and English education.

Section for Faculty of Life Sciences (生命科学部) including a line graph on graduation research and a list of 'Best 3' items like English education and information processing education.

Large section titled '東京薬科大学 大規模卒業生調査結果' containing multiple charts, pie charts, and text about career trends and job satisfaction.

Section titled '卒業論文研究の達成レベルが高いと、卒業時に多様な知識能力(=社会人基礎力)が身につく' containing a pie chart on career trends and a line graph on job satisfaction.

Section titled '例)生命科学部版ディプロマ・サブメント' showing a sample diploma and a circular competency map with an 'Acceleration Program' logo.